

命と向き合う、獣害対策と伊佐ジビエ

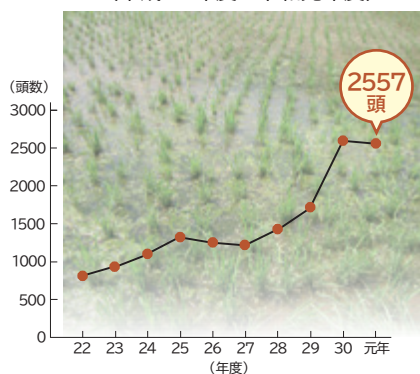
鹿や猪による農作物被害が増加

近年、警戒心が強いはずの鹿や猪などの野生動物が餌場を求めて田んぼや畑、人里に現れ、農作物を食い荒らす被害が深刻化しています。

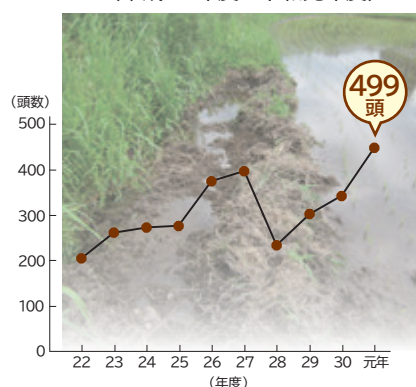
これらの農業被害が増え続ければ、離農や耕作放棄地の増加に繋がるおそれがあります。電気柵やフェンスなどの侵入防止柵を設置して農地への侵入を防ぎ、エサとなる野菜くずや柿などの果実を放置しないなど、野生動物を農地や人里に寄せ付けない工夫が必要です。

これらの取組みが、人間と野生動

伊佐市ニホンシカの駆除頭数
(平成22年度～令和元年度)



伊佐市イノシシの駆除頭数
(平成22年度～令和元年度)



物が住み分けて、共生する環境づくりに繋がりまます。

命と向き合うこと

農作物への獣害対策には、野生動物の捕獲や駆除が欠かせません。仕方のないこととはいえ、その命の重みを忘れてはなりません。いただいた命に感謝し、余すことなく有効に活用することが、動物の命と向き合うことに繋がります。

伊佐市では、捕獲した鹿・猪を精肉に加工して、ジビエ（狩猟で捕獲された野生鳥獣の食肉）として販売

する取組みを行っています。

地産地消の取組み

菱刈前目にある「伊佐市有害鳥獣処理施設」は、市内で捕獲された鹿や猪を解体・加工し、効率的に高品質のジビエを供給している施設です。保健所による厳しい衛生検査をクリアし、食品衛生法に基づく営業許可を取得した獣肉処理加工施設は県内でも6施設しかありません。

伊佐の処理施設では、猟師が捕獲した鹿や猪を、精肉担当の職員が短

時間で処理し真空冷凍保存するので、鮮度の良いシカ肉・イノシシ肉を出荷することが出来ます。市内3箇所のジビエ販売店には、市外からも多くのお客さんが訪れるそうです。

今後は、市内飲食店でのジビエ料理の提供など、ジビエを伊佐で食べていただけるような仕組みづくりが検討されています。

おいしく安全に食べるために

シカ肉やイノシシ肉は、高タンパク・低脂肪で味がよく、適切に処理

ジビエの消費は地域の食文化が大いに関係しています。北海道では当たり前のように食されるシカ肉も、鹿児島では一般的な食材とは言えません。

伊佐ジビエは、徹底した衛生管理のもと精肉しているので、品質に自信があります。ぜひ食べてもらって、安全でおいしいということを知ってもらいたいです！

寒い季節には、もみじ鍋・ぼたん鍋がおすすめです。



伊佐市有害鳥獣処理施設管理運営委員会
会長 上平清美さん



有害鳥獣処理施設内を 覗いてみよう!!

- ④ 枝肉の解体を行い、
ブロックに切り分ける



- ⑤ 真空パックして、
急速冷凍する



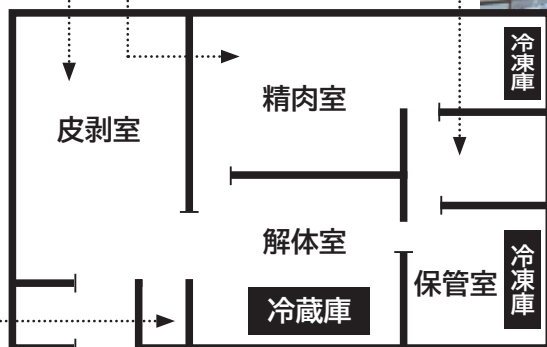
- ⑥ 冷凍保存したまま、
店舗へ出荷



- ② 鎖で吊り上げて、丁寧に動物の内臓を摘出し、
皮を剥ぐ



処理工程ごとに部屋を分けることで、徹底した衛生管理ができるんだ



- ① 高圧洗浄機で、泥やダニなどをきれいに洗い流す



- ⑦ 肝臓のサンプルを保管し、保健所へ提出する



- ③ 大型冷蔵庫で寝かせて肉質を落ち着かせる（筋肉に水分が多く含まれているため）



真空パックにすることで冷凍焼けを防ぐことができるよ

ジビエメニュー

【材料】

鹿のモモ肉 200 g
小麦粉適量
サラダ油

★ バジルソルト小さじ1
ウスターソース大さじ1/2
オリーブオイル大さじ1/2
酒大さじ1/2
おろししょうが適量
おろしにんにく適量

鹿肉のバジル唐揚げ

【調理法】

- ① 鹿肉を1cm くらいの薄切りにして30分ほど牛乳に漬けておく（臭みが抜けて柔らかくなります）。
- ② ★の材料を混ぜ合わせておく。
- ③ ①の鹿肉を牛乳から取り出し、ビニール袋に入れて、②のタレを加えて揉む。
- ④ ③に小麦粉を加えて全体にまぶす。
- ⑤ フライパンで揚げ焼きにする。



（地域おこし協力隊 田崎さん提供）

された肉は獣臭さもあまりしないといわれています。
栄養価の高いジビエですが、生または加熱不十分なまま食べると、E型肝炎ウイルス、腸管出血性大腸菌または寄生虫による食中毒のリスクがあります。ジビエは中心部まで火が通るようしっかりと加熱して食べましょう。また、生肉に接触した調理器具もしっかり消毒しましょう。

伊佐ジビエが 購入できる 店舗



- まごし市場
- 田中農産物直売所
- ニシムタ大口店 JA 直売所

■ 100 gあたりの値段（税抜）

<シカ肉>

コース 330 円
モモ 220 円

<イノシシ肉>

コース 330 円
モモ 220 円
バラ 220 円

消防表彰

消防団活動に功績があった団員が受章されました（敬称略）。

令和3年表彰

○鹿児島県消防協会始良伊佐支部長表彰（15年勤続）

蔵原これあき（第1分団副分団長）
有郷豊喜（第6分団班長）
原田一男（第9分団班長）
竹之内信二（第1分団団員）
小田原宏（第1分団団員）
神田顕正（第2分団団員）
上田次郎（第4分団団員）
帖佐秀雄（第8分団団員）
砂田健一（第11分団団員）
成政禎一（第11分団団員）
中間弘典（第12分団団員）

○市長表彰

退任消防後援会長

山田豊（第2分団元町班）
山下和義（第2分団諏訪班）
岩元克頼（第5分団）
木ノ下恵三（第8分団）

30年勤続章

下原和幸（第3分団団員）
岡野秀司（第7分団団員）

住吉真人（第7分団団員）
25年勤続章

森義信（第4分団分団長）

山下信一（第16分団分団長）

左近充誠（第13分団副分団長）

宮原功（第16分団副分団長）

亀割浩介（第13分団班長）

横山和行（第1分団団員）

精松良平（第3分団団員）

永吉勇治（第3分団団員）

長谷川雄二（第7分団団員）

塩屋空海（第11分団団員）

20年勤続団員の家族

沖田芳博（第9分団分団長）

児島信一郎（第10分団副分団長）

今村浩二（第1分団班長）

神園剛太（第1分団団員）

森田誠（第1分団団員）

早水貴志（第3分団団員）

橋本貴宏（第6分団団員）

栗巢義朗（第6分団団員）

迫幸博（第7分団団員）

永峰昭二（第9分団団員）

竹内義人（第9分団団員）

大友則人（第9分団団員）

柿ノ迫友則（第9分団団員）

小原治男（第14分団団員）

山下博敏（第15分団団員）

15年勤続章

蔵原これあき（第1分団副分団長）

帖佐誠（第3分団団員）

西口雄貴（第3分団団員）

大宮司博志（第4分団団員）

前田康経（第6分団団員）

柿木伸一（第6分団団員）

奥園誠一（第7分団団員）

成政禎一（第11分団団員）

10年勤続章

小水流竜司（第5分団班長）

寶満尚也（第17分団班長）

大迫和央輝（第1分団団員）

遠矢淳平（第2分団団員）

高山真司（第5分団団員）

福元昭一（第8分団団員）

開隆将（第9分団団員）

有木健祐（第10分団団員）

木場一喜（第13分団団員）

○団長表彰

5年勤続章

長岡恵輔（第1分団団員）

飯屋和樹（第1分団団員）

藤村敏成（第2分団団員）

角賢哉（第2分団団員）

岩下好将（第3分団団員）

高浪雄太（第3分団団員）

帖佐拳斗（第3分団団員）

前畑政博（第3分団団員）

境谷大輔（第4分団団員）

石神龍佑（第4分団団員）

吉留暢孝（第4分団団員）

清藤圭介（第4分団団員）

南亨謙（第4分団団員）

三日市慶介（第5分団団員）

佐々木栄治（第5分団団員）

高野秀幸（第5分団団員）

古里望（第6分団団員）

若松秀典（第7分団団員）

南園浩貴（第7分団団員）

田ノ上健斗（第7分団団員）

山口航平（第7分団団員）

田代直樹（第8分団団員）

坂元直樹（第9分団団員）

久木留雄貴（第9分団団員）

黒木洋介（第10分団団員）

松枝智哉（第11分団団員）

下城和喜（第13分団団員）

林克彦（第14分団団員）

出籠頭人（第15分団団員）

下御領えり子（女性分団団員）

令和2年度全国統一防火標語

その火事を
防ぐあなたに
金メダル

空気が乾燥し火災の起こりやすい時季です。
火気の取り扱いに
十分ご注意ください。



あなたの想いが、地域の安心・安全に繋がる

消防団員募集

消防団員は、各自の職業に従事しながら火災等の消火や防火・防災の啓発など、地域の安心安全を守るために活動を行っています。

自分や家族、地域のためにぜひ一緒に活動しましょう。

応募資格

- ①伊佐市内に在住または通勤している人
- ②18歳以上（高校生は除く）
- ③健康で防災活動に興味のある人

問い合わせ先

総務課交通消防防災係 ☎1311



令和2年表彰

※階級は令和元年度のものです。

○消防庁長官表彰

永年勤続功労章

内山豊年（第7分団団員）

○日本消防協会表彰

優良消防団（竿頭授）

伊佐市消防団

精績章

飯田利美（副団長）

勤続章

下城正剛（第12分団分団長）

澤津寿久（第14分団副分団長）

○県知事表彰

40年勤続章

蓑田慎一（副団長）

有留美芳（第9分団団員）

渡邊清文（第10分団団員）

10年勤続章

緒方慎也（第5分団班長）

栗巢和成（第6分団班長）

木ノ下耕吉（第8分団班長）

永田誠二（第1分団団員）

山田尚洋（第2分団団員）

山中宏樹（第2分団団員）

成影健一郎（第5分団団員）

平出水一文（第6分団団員）

梶木保典（第7分団団員）

宮ノ原大（第8分団団員）

福本大輔（第8分団団員）

前田正悟（第10分団団員）

井之上崇（第12分団団員）

西卓朗（第14分団団員）

山下祐介（第15分団団員）

○県消防協会総裁表彰

功績章（20年勤続）

亀居修一（第2分団副分団長）

酒瀬川幸（第14分団班長）

坂口泰宏（第1分団団員）

森山誠（第4分団団員）

寺地史生（第4分団団員）

長岡達朗（第10分団団員）

精績章（15年勤続）

上田次郎（第4分団副分団長）

原田一男（第9分団班長）

瓦勇治（第15分団班長）

竹之内信二（第1分団団員）

小田原宏（第1分団団員）

神田顕正（第2分団団員）

有郷豊喜（第6分団団員）

有満隆明（第6分団団員）

帖佐秀雄（第8分団団員）

安田哲郎（第11分団団員）

砂田健一（第11分団団員）

中間弘典（第12分団団員）

福田友和（第13分団団員）

久保田慶久（第16分団団員）



あっぱれ! Vol.12
伊佐盛
イサモリ

肥後 龍平さん (男子駅伝チームキャプテン)

伊佐代表の誇りを胸に **ピンクの襷**を繋ぐ

2月13日(土)～17日(水)の5日間で、各地区の代表選手が健脚を競う県下一周駅伝キャプテンとして28人の男子チームを支える肥後選手にお話を伺いました。

「みなさんの応援が本当に力になります」と話す肥後選手は、今大会が自身11回目の出走となります。駅伝をはじめたのは社会人になってから。山野中学校の先輩でもある尾上選手に誘われたことがきっかけだそうです。高校野球で鍛えた持久力で伊佐代表選手になったものの、はじめてのレースでは脱水症状になり、大差をつけられての最下位という苦い経験をしました。「チームに迷惑をかけてしまった申し訳なさ、自分の力不足を痛感した悔しさが忘れられず、真剣に練習に取り組むようになりました」と、この経験をきっかけに持ち前の負けん気根性に火がつき、

いまでは各チームの主力選手が集まる主要区間を任せてもらえるまでになったそうです。



▲沿道の声援に背中を押され、ラストスパート
(第67回大会 4日目 10区)

伊佐チームは、昨年度大会で悲願の最下位脱出と躍進1位を達成。「伊佐通過の大会3日目には日間9位に入り、今年こそいけるぞ!」とチームに勢いがつきました。9年ぶりに最下位から脱出できたことは、チームにとって大きな一歩で、とても達成感がありました」と振り返ります。今大会の目標は、2年連続の躍進1位を獲得すること。積極的な走りやチームを引っ張る中継選手や、経験豊富で信頼の厚い松木選手をはじめ、



▲チームメイトは、最高の仲間でありライバル

伊地知選手や村田選手などベテラン勢も安定感抜群。また、社会人と高校生の新戦力も加え、チームとして手応えを感じているそうです。

「いつもたくさんの応援ありがとうございます。僕たちの走りや伊佐に明るい話題を届けられるよう、チーム一丸となって力いっぱい頑張ります!」

選手たちの活動は、「県下一周駅伝 伊佐チーム」のfacebook・インスタグラムで発信中。ぜひご覧ください。